

ティコの旅立ち



きたの まさこ

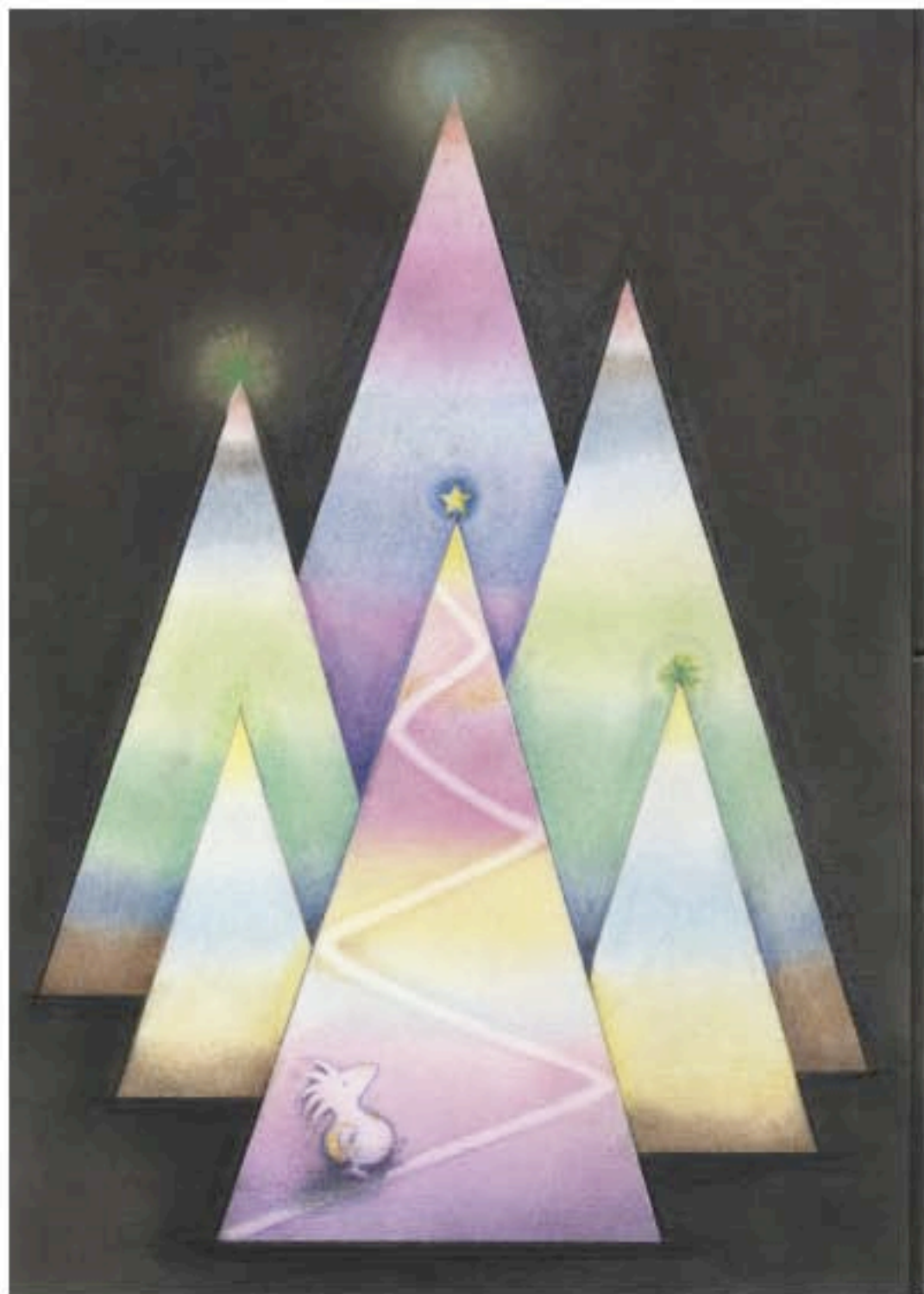


旅立ち

「ママ、パパ、ボクは旅に出るよ。
何かボクを呼んでるんだ。」

するとママは真っ赤なリンゴをくれたんだ。
「気をつけてね、ティコ。あなたの帰りを待っているわ。」

パパは白い封筒を手渡してくれた。
「ティコ、困ったらこれを開けるんだよ。
大丈夫。おまえなら やれるさ。」



山また山

ボクが登り始めたら、お山のとっぺんに
ちっちゃな光りがともったんだ。
次はどの山に登ろっかな？



ぐるぐるまわる

ぐるぐるまわる、ぐるぐるまわる。
急ぎすぎたら前にコケルし、
ゆっくりすぎたら後ろにコケル。
ぐるぐるすすむ。ぐるぐるすすむ。
早すぎないように、遅すぎないように。



さみしい

ママ、パパ、さみしいよう。

疲れちゃった。

お家に帰りたいよう。



花のかおり

ちょっぴり元気がなくなってきちゃった。
そんな時にあたりに漂うやさしいかおりに
気がついたんだ。

それは、白い花のかおり。

そのかおりを吸い込んで、息を吐いて
吸い込んで、息を吐いて。

そうしたらだんだん気持ちが落ち着いて、
元気になってきた。

ようし！ また進んでいくぞ。




怖い

突然大きな目がボクの前に現れた。

コワイ コワイ コワイ

でも、瞳の中に映ったボクの姿を見つけた時、
この目はずっとボクを見守ってくれていたと気付いたんだ。

A whimsical illustration featuring a small, white, spiky creature with a yellow backpack and a yellow crescent moon in the upper left corner. The creature is positioned in the center of a complex maze of dark, overlapping circles and lines, creating a sense of being lost. The creature has a small blue eye and a yellow backpack. The background is a dark, textured grey with various shades of brown and purple, suggesting a night sky or a dark forest. The overall style is soft and painterly.

道に迷う

迷っちゃった。迷っちゃった。
どっちに行けばいいの？
ボクの道がわかんない。
どうしよう。どうしよう。



自分の星を見つけなさい

泣いたらちょっとスッキリした。
そうだ、パパが言った、「困ったらこれを開けるんだよ」って。

ボクは大きな木の根っこにすわって深呼吸した。
ママからもらったリンゴを食べると気持ちが落ち着いてきた。

そこでボクはパパからもらった封筒を開けたんだ。
中にはたった一言…「自分の星を見つけなさい」



ついに見つけた

やったあ！やったあ！やったあ！
ついにボクの星を見つけたぞ。
あの星に向かって進んでいくんだ。
ボクはもう迷子の子羊なんかじゃない。
ついにボク自身の星を見つけたんだ。





ただいま

パパ、ママ、ただいま！
ボク、やっと自分の星をみつけたよ。